

取扱説明書

ロータリー式液面計

RG-3

目次

	ページ
1. 概要 2
2. 製品名 2
3. 使用範囲 2
4. 構造と特長 2
5. 取扱方法 3
6. 運搬及び保管 3
7. 取付要領 3
8. 点検及び保守 4
9. パッキンの交換要領 4
10. 交換部品 4
11. アフターサービスについて 4
12. 構造図 5

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきましてまことにありがとうございます。ご使用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解されたうえで本機器をご使用くださいますようお願いいたします。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧めいたします。

1. 概要

本液面計は、スピンドルにつながったサイフォン管の先端を、タンク内壁に沿って回転させ、ブロープラグを開けたときに、サイフォン管を通りブロー穴より放出されるガスが、液体から気体に変化する点を判別し、液面位を測定するものです。

2. 製品名

- | | | |
|------------|-------|-------------|
| (1) 品名 | | ロータリーレベルゲージ |
| (2) 型式 | | RG-3 |
| (3) 図面 No. | | B-61081 |

3. 使用範囲

取り付け前に必ず次の仕様を確認の上ご使用ください。

- | | | |
|------------|-------|-----------------------------|
| (1) 使用流体 | | LPG 及び毒性以外の液化ガス(高压ガス保安法による) |
| (2) 設計圧力 | | 2.4MPa |
| (3) 設計温度 | | -10~70°C |
| (4) 耐圧試験圧力 | | 3.9MPa |
| (5) 気密試験圧力 | | 2.4MPa |
| (6) 接続仕様 | | 管用テーパねじ R1 |
| (7) 本体材質 | | C3604B |

注意

これは標準仕様です。仕様範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び製品の検査成績書の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上で使用して下さい。

4. 構造と特長

- (1) 本液面計は、タンクに管用テーパねじで取り付けられます。
- (2) タンク内壁近くまで伸びたサイフォン管は、スピンドルに溶接され、止めネジにより指針に固定されております。
- (3) 測定時は、指針を回転させて、サイフォン管の先端を内壁に沿って移動させ、ブロープラグを開けたときにブロー穴より放出されるガスが、液体か気体かによってタンク内の液面位を探し、その時の液面位(タンクの内容量%)を銘板(目盛板)から知る構造になっております。

5. 取扱方法

5.1 取扱上の注意

- (1) この液面計は、タンク内部の液化ガスを外部に放出する構造ですので、測定するときは火気に充分注意して、短時間で行なって下さい。
- (2) 測定者は、革手袋、メガネ等の保護具を身につけた上で測定を行なって下さい。
- (3) ブロープラグは、弛め過ぎるとプラグがスピンドルから脱落してしまいますので、3回転以上は廻さないで下さい。

5.2 測定方法

- (1) 指針を最大容量の位置まで移動します。
- (2) プラグを反時計回りに廻して弛めます(3回転以内)。スピンドルの小穴から、ガスが吹き出てきます。
- (3) 指針をゆっくりと、小さい値の目盛の方へ廻します。
- (4) サイフォン管の先端が液面に達すると、スピンドルの小穴から液が白い霧となって吹き出します。そこで指針の示す値を銘板(目盛板)から読み取ります。この目盛がタンクの内容量(%)を示します。
- (5) プラグを時計回りに廻して閉じます。
- (6) 測定終了後、各部からの漏れのないことを確認して下さい。

6. 運搬及び保管

- (1) 液面計を落とす、倒す、引きずるなどの乱暴な取り扱いで強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は荷姿のまま、ゴミ、埃、雨などがかからないようにして下さい。
- (3) 液面計を持つときは、サイフォン管を曲げたり、傷付けたりしないように注意して下さい。

7. 取付要領

- (1) ボディ取り付けの際は、取り付けねじ部の切粉、溶接スパッタ、スケール等を充分清掃して下さい。
- (2) 取り付けねじ部には、流体に適合したシール剤を塗布して下さい
- (3) 取り付けねじ部の過剰な締め込みは、ねじを破損しますので、手で締め付け後 1~1.5 回転のスパナ締めを標準として下さい。
- (4) ボディを締め付ける際は、パイプレンチは使用しないで下さい。
- (5) サイフォン管を曲げたり、傷付けたりしないように注意して下さい。

8. 点検及び保守

- (1) ボディ取り付けねじ部からの漏れはないか。漏れがあった場合は、増締めを行なって下さい。
- (2) グランドナット部からの漏れはないか。漏れがあった場合は、グランドナットの増締め、パッキンの交換を行なって下さい。
- (3) ブロー穴からの漏れはないか。漏れがあった場合は、容器にガスが無い状態で、プラグのシートパッキンを点検し、異常のあるものはプラグごと交換して下さい。

9. パッキンの交換要領

容器内圧がゼロであることを確認してから、交換作業を行なって下さい。

- (1) 「9」セットスクリーを弛めて、「8」指針を抜き取ります。
- (2) 「5」プラグを弛めて外します。
- (3) 「2」グランドナットを取り外します。
- (4) 「13」グランドパッキン、「16」オーリングを取り外します。
- (5) 新しいグランドパッキン及び、オーリングを取り付けます。グランドパッキン及び、オーリングには、使用流体に適合したグリスを少量塗布して下さい。
- (6) 分解と逆の手順で各部品を組み込みます。
- (7) 気密検査を行ない、漏れのないことを確認してください。

10. 交換部品

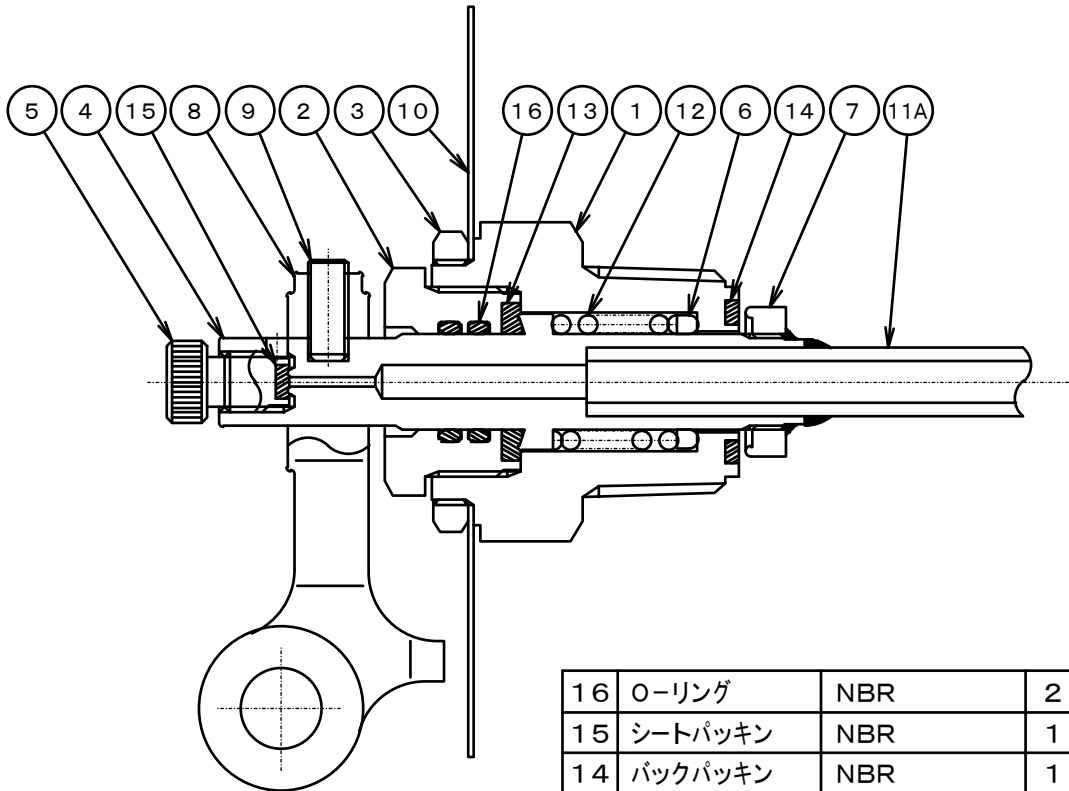
分解検査の際に交換するパッキン部品類は、純正部品を使用して下さい。
詳細については、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。

11. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせ下さい。

12. 構造図



16	O-リング	NBR	2	
15	シートパッキン	NBR	1	
14	バックパッキン	NBR	1	
13	グランドパッキン	PTFE	1	
12	スプリング	SUS304	1	
11 ^B _A	サイフォン管	C2600T	1	B=φ 6 A=φ 10
10	銘板	SUS304	1	
9	セットスクリュー	SUS304	1	
8	指針	SCS13	1	
7	ストッパ	C3604B	1	
6	スプリング受け	C3604B	1	
5	プラグ	C3604B	1	
4	スピンドル	C3604B	1	
3	押エナット	C3604B	1	
2	グランドナット	C3604B	1	
1	ボディ	C3604B	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲府工場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-3284
札幌営業所	(TEL) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(TEL) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(TEL) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(TEL) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(TEL) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(TEL) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984